

経営計画作成支援

経営計画の必要性

- 企業の経営も方向を定める役目の羅針盤が必要です。
- その羅針盤の役目は経営計画そのものに他なりません。
- 経営計画のない会社は進路を定められず、迷路に入り込み経営が危ぶまれるようになります。

～ 経営計画のない経営は「羅針盤を持たない船」～



船は羅針盤がないと
方向を定められない

～ 現在の日本は「先の見えない時代」だ～

今や経済環境が変化に富み
価値の多様化の時代

- 売上の見通しがたたない
- 設備投資の回収予測ができない
- 資金繰りが組めない



経営計画の作成手順

～経営計画シミュレーションの手順～

1. 社長が「目標」を立てる

- ・ 経営理念、経営目標
- ・ 中期ビジョン
- ・ 5ヵ年数値計画

2. 「方法論」を具体化する

- ・ 社長主体の「トップダウン方式」や現場参加型の「ボトムアップ方式」等により具体的な行動計画を数値で表します。

3. 「予実対比」を実施する

- ・ 予算数値と実績数値との対比を行い、更に早期把握を行うことで、先見経営、先行管理を実施します。
- ・ 決算の2ヶ月くらい前に、「決算予測」、「利益予測」、「納税予測」を行い、FPも実施します。
- ・ 決算後、「決算評価」により自社分析を含めた1年間の経営の総括を行ないます。



経営計画の作成効果

～経営計画シミュレーションの手順～

1. 経営にゆとりが生まれる

- ・ 将来の損益や資金繰り状況を予め把握できます。
- ・ 危機感に対して早めに対処できます。
- ・ 経営に余裕が生まれます。

2. 最適な意思決定ができる

- ・ 目標の達成が測れます。
- ・ 新商品、新規市場への進出の妥当性が判断できます。
- ・ 投資すべきか人員を採用すべきかの判断資料を与えてくれます。

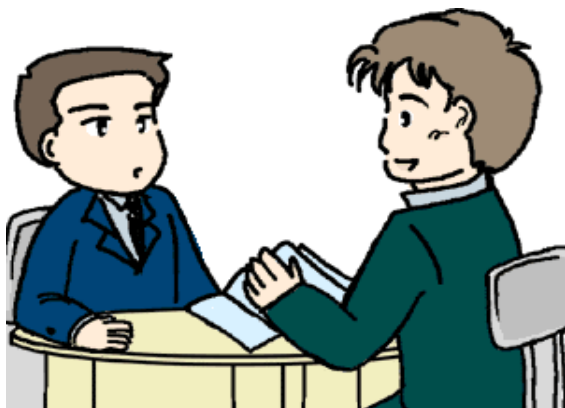
3. 金融機関や得意先から信用が得られる

- ・ 今後の見通しを含んだ経営計画書を作成している為、「計画性のあるデータ」を明示できます。
- ・ 将来の売上、見込利益、資金繰りがデータによって判明し、堅実な経営姿勢が評価されます。

4. 後継者への教育に役立つ

- ・ 経営スタッフ、後継者たる人等と共に計画を立案し経営者の意思を徹底させれます。
- ・ 経営参画意識の向上による活性化で教育効果が期待できます。

～経営計画シミュレーションの効果～



ゆとり
意思決定
後継者へ
の教育



経営計画の作成対策

- ・ 自力で会社存続と発展の可能性を見出し、的確な方向づけを行い、結果、将来を予見し、予測できるようになります。
- ・ 前もって、不都合な事情に対策を打ち、常にプラスの方向へ会社を導く必要があります。
- ・ 経営者の力強い決断力をサポートできるようになります。
- ・ 将来の収支や、資金繰りの変化が理解できるようになります。
- ・ 危機感に対しての対策が打てるようになります。

～ 未来への決断力～

